

【執行役の選任理由】

<2025年7月2日付就任。選任理由は同日付臨時取締役会決議時点>

氏名	選任の理由
橋本 雅博	<p>橋本 雅博氏は、2014年から当社の代表取締役社長、2015年からは取締役 代表執行役社長として、「スミセイ中期経営計画2016」および「スミセイ中期経営計画2019」を着実に推進し、ブランド戦略の進化を図り、営業職員によるコンサルティングとサービスの一層の向上に取り組む一方、マルチチャネルや海外事業といった分野に経営資源を振り向け、新たな成長戦略の構築を図ってまいりました。また、着実な運用収益の向上を通じた財務基盤の強化に取り組むとともに、成長戦略を支える人財の更なる能力発揮やグループベースの経営管理のレベルアップなど、経営インフラの強化を進めてまいりました。2021年に取締役会長代表執行役に就任し、取締役会の議長として、取締役会における意思決定や、執行役等の職務執行に関する監督を行っております。</p> <p>同氏の経営者としての豊富な知識および経験ならびに高い見識をもとに、代表執行役として当社を代表し財界活動等で活躍することができると判断し、執行役に選任するものです。</p>
高田 幸徳	<p>高田 幸徳氏は、「スミセイ中期経営計画2016」および「スミセイ中期経営計画2019」を取りまとめ、各計画に掲げた諸目標の達成に尽力するとともに、他社との提携、格付の向上、FinTech研究等にも取り組んでまいりました。“住友生命「Vitality」”には発売準備段階から深く関与し、その拡販とサービスの進化を通じ健康増進という保険価値の提供に邁進してまいりました。また、お客さまと住友生命との様々な接点における一連の顧客体験価値(CX)を高めるための諸方策やデジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進、ブランド戦略の進化等にも取り組んでまいりました。そして、2021年に代表執行役社長に就任し、「人とデジタルが融合」したサービス提供を充実させ、「ウェルビーイングに貢献する『なくてはならない保険会社グループ』」の実現に向け取り組んでおります。</p> <p>同氏の経営全般にわたる豊富な知識および経験ならびに高い見識をもとに、代表執行役社長として経営の指揮をとり、2023年度にスタートした「スミセイ中期経営計画2025」に掲げる種々の取組みを確実に遂行することができると判断し、執行役に選任するものです。</p>
角 英幸	<p>角 英幸氏は、アクチュアリーとして保険数理業務に高い専門性を有し、収益管理部門である主計部や年金数理分野での業務経験が豊富であります。2015年から主計部、経理部の副担当役員として、全社的な見地から収益・財務基盤の強化を推進してきた実績がございます。2016年以降、主計部、経理部に加え、資産運用の事務管理を担う運用管理部を担当し、2019年以降はこれらに加え調査広報部も担当してまいりました。2021年に運用管理部に替え企画部の担当となり、以降、全社経営戦略の企画・調整・推進に取り組んでおります。2023年に調査広報部に替えブランドコミュニケーション部の担当となり、ブランド戦略の一段の進化に注力しました。現在は代表執行役副社長として、当社グループ全体のサステナビリティ向上やデータサイエンスに基づくウェルビーイング価値の具体化などにも取り組んでおります。</p> <p>同氏の豊富な知識および経験ならびに高い見識をもとに、収益管理部門、企画部、データサイエンスオフィサーの担当執行役として、経営基盤の一段の強化、当社の経営戦略の更なる高度化、当社グループのサステナビリティ向上等を図ることができると判断し、執行役に選任するものです。</p>
栄森 剛志	<p>栄森 剛志氏は、保険販売部門、人事部、海外部門、調査広報部等において豊富な業務経験を有しております。生命保険協会長事務局や生命保険協会企画部会長を務めるなど、業界代表として保険・金融・消費者関連諸法制改正等に関わった経験がございます。2017年以降は海外部門、人事部、関連事業部門等の担当執行役として、戦略子会社であるシメトラ社を含む国内外の子会社等とも緊密に連携し、当社グループの収益力向上や人財の育成、ダイバーシティの推進等に努めてまいりました。また、2019年から4年間、商品部を担当し、お客さまに先進の価値を提供する商品や付帯サービスの開発・拡充等にも取り組んでまいりました。2023年4月代表執行役専務就任に際し、事務サービス部門の担当となり、以降、保険契約管理事務の品質向上等を通じたお客さまサービスの充実に精力的に取り組んでおります。</p> <p>同氏の豊富な知識および経験ならびに高い見識をもとに、事務サービス部門の担当執行役として、保険金等の支払態勢の強化や諸手続きの利便性の改善等を通じ、お客さまサービスの更なる向上を図ることができると判断し、執行役に選任するものです。</p>

氏名	選任の理由
松本 巖	<p>松本 巖氏は、資産運用部門等において豊富な業務経験を有しております。2011年以降2018年まで、運用企画部長として、資産と負債の総合的な管理のもと、資産運用リスクを適切にコントロールしながら、堅固な収益基盤の構築とリスク対応力の強化に中心的な役割を果たしてまいりました。また、近年の低金利の長期継続という環境下においては、資産運用部門を取りまとめ、基本ポートフォリオの見直しを通じ、資産運用収益力の向上と金利リスクコントロールに取り組んでまいりました。そして、責任投資の推進を通じ、中長期の安定的な資産運用収益の確保と持続可能な社会の実現への貢献の両立を目指した取組みにも注力しております。</p> <p>同氏の豊富な知識および経験ならびに高い見識をもとに、資産運用部門の担当執行役として、安定した収益力と健全性の確保の両立を図りつつ、お客さまの安定的な資産形成、お客さまニーズに適った保険商品の提供に資する資産運用の高度化を強力に推進することができると判断し、執行役に選任するものです。</p>
堀江 喜義	<p>堀江 喜義氏は、三度にわたり支社長職を務めた後、営業教育部長、首都圏本部長、営業総括部長を務めるなど保険販売部門での業務経験が豊富であります。2020年1月から営業企画部、営業総括部の副担当役員として、東京都心エリアにおける保険販売戦略を企画・推進し、同年3月以降は都心総括部、首都圏本部、すみれい事業部の担当役員として、その職務に邁進してまいりました。2021年以降、保険販売部門の担当執行役として、全国の営業職員によるコンサルティングとサービスの一層の向上を実現すべく精力的に取り組み、お客さまのウェルビーイング実現に向け、営業職員のライフデザイナーからウェルビーイングデザイナーへの進化を強力に推進してまいりました。現在は、年金部門および法人企業部門を担当しております。</p> <p>同氏の豊富な知識および経験ならびに高い見識をもとに、当社の保険販売において重要なマーケットである法人企業との関係強化を一段と強力に推進することができると判断し、執行役に選任するものです。</p>
岩井 豊城	<p>岩井 豊城氏は、代理店部門、調査広報部等において豊富な業務経験を有しております。特に代理店部門については、2004年に着任以来、長年にわたるキャリアを持ち、代理店向け商品はもとより、代理店に関する諸規制やコンプライアンス等も含め、代理店向けビジネスに精通し、代理店業界に豊富な人脈を有しております。2019年以降は代理店事業部の副担当役員として、特定の代理店チャネルにおける保険販売の企画・調整やメディケア生命保険(株)、いずみライフデザイナーズ(株)等の経営戦略および業務執行に関する事項を担当し、その職務に邁進してまいりました。そして、2020年以降は代理店部門の担当執行役として、引き続き部門の諸課題に精力的に取り組んでおります。</p> <p>同氏の豊富な知識および経験ならびに高い見識をもとに、マルチチャネル戦略を担う代理店部門の担当執行役として、代理店を通じた保険販売の強力推進とお客さまサービスの一段の向上を図ることができると判断し、執行役に選任するものです。</p>
香山 真	<p>香山 真氏は、経理部、人事・勤労部門、総務部等において豊富な業務経験を有しております。中でも人事・勤労部門のキャリアは長く、拠点・支社・本社のビジネスプロセス改革、職員の働きがいと生産性を高める働き方変革やダイバーシティの推進等に制度と運用の両面から取り組んでまいりました。2020年以降はお客さま本位推進部の副担当役員として、また、2021年以降は同部に加え、ブランドコミュニケーション部、勤労部の担当役員として、担当する各部の諸課題に精力的に取り組んでまいりました。現在は、人事・勤労部門および社長を本部長とする人財共育本部の事務局に加え、総務部も担当しております。</p> <p>同氏の豊富な知識および経験ならびに高い見識をもとに、ウェルビーイングに貢献し持続可能な未来を実現していく人財の育成と適正配置を推進し、WPI(Work Performance Innovation)を一段と進化させるとともに、コーポレートガバナンスの一層の高度化を図ることができると判断し、執行役に選任するものです。</p>

氏名	選任の理由
汐満 達	<p>汐満 達氏は、情報システム部門において極めて豊富な業務経験を有しており、当社の成長戦略や経営インフラを支える情報システムの企画・調整に長年にわたって取り組み、その安定的かつ効率的な運用を推進してまいりました。また、巧妙化するサイバー攻撃等に起因するシステムリスクを未然に防ぎ有事の際の迅速な対応を可能とする態勢整備に尽力してまいりました。更に、近年の急速なインシユアテックやデジタルライゼーションの進展の中で、将来を見据えた研究・開発体制の整備に努めるとともに、営業職員による「人ならではの価値」とデジタルサービスの融合等、当社各執行部門の新規取組みの円滑な展開を強力にサポートしてまいりました。現在は、情報システム部門、CX企画部、財務部、不動産部門を担当しております。</p> <p>同氏の豊富な知識および経験ならびに高い見識をもとに、当社業務を支える情報システムの高度化、お客さまが当社との接点で感じていただける体験価値の向上等を強力に推進するとともに、融資や不動産の運用を通じ、安定した収益力と健全性の確保を図ることができると判断し、執行役に選任するものです。</p>
高尾 延治	<p>高尾 延治氏は、保険の販売企画部門における業務経験が豊富であり、営業職員による保険販売に関する企画・推進はもとより、損害保険事業の立ち上げや代理店による保険販売の推進、生命保険業界共通の課題解決など、幅広く取り組んでまいりました。支社長、メディケア生命保険(株)社長を歴任の後、4年間にわたり企画部長として全社経営戦略に関する企画・推進に取り組みました。2022年からは、代理店事業部の副担当役員として2年間、生命保険子会社や保険ショップ等の経営戦略や業務執行等を担当しました。また、企画部の副担当役員として当社グループ全体のサステナビリティ向上に向け、その職務に邁進しました。2023年に企画部の副担当に替え調査広報部、商品部の担当となり、2024年7月からは、コンプライアンス統括部、調査広報部、商品部を担当しております。</p> <p>同氏の豊富な知識および経験ならびに高い見識をもとに、生命保険協会を通じた業界横断的な課題等への対応や先進の価値を提供する商品・サービスの開発を進めるとともに、コンプライアンス推進体制の一段の強化を図ることができると判断し、執行役に選任するものです。</p>
橋本 篤史	<p>橋本 篤史氏は、四度にわたり支社長職を務め、仙台支社長在任中の2019年に執行役員に就任し、翌年3月から営業総括部長として、営業職員によるコンサルティングとサービスの向上に向けて全社を指揮するなど、保険販売部門での業務経験が豊富であります。2023年以降、お客さま本位推進部、営業人事部、営業教育部の担当役員および営業総括部の副担当役員として、お客さま本位の業務運営を推進するとともに、お客さまをはじめとする各ステークホルダーから信頼され、そのウェルビーイングに貢献できる営業職員チャネルの実現に向け、職務に邁進してまいりました。2025年4月に保険販売部門の担当役員に就任し、全国の営業職員によるコンサルティングとサービスの一層の向上、営業職員のライフデザイナーからウェルビーイングデザイナーへの進化などに精力的に取り組んでおります。</p> <p>同氏の豊富な知識および経験ならびに高い見識をもとに、保険販売部門の担当執行役として、営業職員チャネルによるサービスの向上等について一段と強力に推進することができると判断し、執行役に選任するものです。</p>

氏名	選任の理由
寺崎 啓介	<p>寺崎 啓介氏は、保険の販売企画部門における業務経験が豊富であり、営業職員による保険販売に関する企画・推進はもとより、損害保険事業の立ち上げ、紹介を主軸に置いた販売チャネルの企画・推進、メディケア生命保険(株)の設立を準備しその初代社長として事業を軌道に乗せるなど、幅広く取り組んでまいりました。支社長、経理部長、事業企画部長といった要職を歴任の後、執行役員に就任し、代理店事業部の副担当として、生命保険子会社や保険ショップ等の経営戦略や業務執行等を担当しました。その後、内部監査部長あるいは同部の担当役員として、内部監査態勢の整備・確立に向け、その職務に邁進してまいりました。2024年以降、内部監査部に加え運用審査部および運用管理部を担当してまいりましたが、2025年4月に、内部監査部に替えリスク管理統括部の担当となり、コンプライアンス統括部の副担当役員も兼務しております。</p> <p>同氏の豊富な知識および経験ならびに高い見識をもとに、全社リスク管理態勢等の整備・充実やコンプライアンス推進体制の強化を図るとともに、投融資案件に関する厳格な審査や運用資産の適切な管理等を実現することができると判断し、執行役に選任するものです。</p>
川口 謙誠	<p>川口 謙誠氏は、海外部門、人事部、総務部における業務経験に加え、保険商品の開発やお客さま向け事務サービスの企画、投融資案件の審査、全社コンプライアンスの推進など、本社各部門の実務を幅広く経験してまいりました。総務部長として当社ガバナンスの一層の向上に取り組んだ後、人事部長在任中の2021年に執行役員に就任し、優秀人財の採用・育成と適正配置を推し進めました。翌年4月に国際業務部長に就任し、また、2023年4月以降は同部の担当役員も兼務して、当社海外事業の更なる展開に向け、その職務に邁進してまいりました。そして、2024年4月執行役常務就任に際し、関連事業部門の担当役員も兼務しております。</p> <p>同氏の豊富な知識および経験ならびに高い見識をもとに、海外部門および関連事業部門の担当執行役として、国内外の子会社等とも緊密に連携し、当社グループの収益力向上や人財の育成等を進めるとともに、グループ経営管理の一層の向上等を実現することができると判断し、執行役に選任するものです。</p>